

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



市内各地で地区や自治会を単位として、正月の火祭り行事「とんど」が開催されました。写真は「西脇区とんど焼き」
(1月12日、杉原川河川敷)



黒田官兵衛ゆかりの場所など市内各所にPRのぼりを設置。写真は、豊臣秀吉が腰掛けたという、極楽寺にある太閤腰掛石



歳末恒例の「喜多市」と黒田庄まちづくり住民会議主催の「軽トラ市」が同時開催され年越し準備に多くの方が来場
(12月22日、黒っこふれあい広場)



明晃商事株式会社が希望を表す赤や春を感じさせるパステルカラーを用いたかわいいドレスなどを展示
(3月31日まで、西脇市役所)

新年の決意や希望を文字に込めて…

(1月5日 旧来住家住宅)



課題に真剣に取り組む子どもたち

西脇TMO主催で第10回新春子ども書き初め大会が開催されました。5歳児から中学生まで約40人が参加し、学年ごとの「うま」「早春の光」などの課題に取り組みました。誰もが真剣な面持ちで力強く筆を走らせ、新年の決意や希望を文字に込めました。また、参加者には焼き芋が振舞われました。

第1回草魂カップ—第三野球部西脇が優勝

(12月28日 西脇公園野球場)



鈴木啓示さんと記念撮影する優勝チームの第三野球部西脇のメンバー

西脇市出身でプロ野球・近鉄バファローズで317勝を挙げた大投手、鈴木啓示さんの座右の銘にちなんで「第1回草魂カップ少年軟式野球大会」が開催されました(西脇軟式野球協会主催)。北播磨地域の30チームが参加し、4日間にわたって激戦を繰り広げ、第三野球部西脇が頂点に立ちました。

景気回復・商売繁盛を祈る伝統行事

(1月9日・10日 船町蛭子神社)



多くの人でにぎわう船町蛭子神社境内

船町蛭子神社は明治初期にこの地に勧請され、昭和初期に加古川堤防が築造された際に現在の場所に移転されました。西宮神社の分霊を祀っており、「えべっさん」として親しまれています。毎年1月9日・10日に船町蛭子大祭が行われ、今年も多くの参拝者が「商売繁盛」「景気回復」を祈願しました。



上) 「二十歳の決意」を述べる角田整哉さん
左) 静粛な雰囲気の中で行われた成人式の第一部式典

平成26年西脇市成人式が開催され、408人(男性205人、女性203人)が新たに大人の仲間入りをしました。
成人式は、市内4中学校から選ばれた新成人8人が中心となって、成人式運営委員会で行われた第一部式典では、西脇市民憲章の朗唱、運営委員長の荻野彩奈さんのあいさつに始まり、静粛な雰囲気の中で、新成人を代表して寺川瑛里さんと角田整哉さんが「二十歳の決意」を述べました。
第二部は西脇ロイヤルホテルに場所を移して「同窓会」がありました。懐かしい友人との再会や学時代の恩師が登場するビデオレターに、会場は大いに沸きました。また、播州織製品や黒田庄和牛など市の特産品が当たる抽選会があったほか、東日本震災復興支援を目的に募金活動も行われました。

感謝の気持ちを持って二十歳の門出
(1月12日 アピカホール・西脇ロイヤルホテル)

消防団の指導で防災訓練

(1月18日 比延小学校)



消防団員から指導を受け消火器訓練をする比延小学校児童

比延小学校・比延幼稚園で防災訓練がありました。「比延学園 防災の日」として実施されたもので、今回で22回目となります。訓練には、保護者や地域の方も参加し、地元の西脇市消防団第5分団が指導に当たりました。児童らは消火器の使い方や、土のうの作り方を熱心に学びました。続いて教室から校庭への避難訓練があり、西脇消防署による校舎からの救助訓練も行われました。



新鮮なイチゴをほお張る児童たち

甘いイチゴに大喜び—芳田小1年生
(1月10日 明楽寺町・篠田いちご園)

芳田小1年生16人が篠田いちご園に招待されイチゴ狩りを体験。温かいピニールハウスの中は児童らの歓声とイチゴの香りで溢れました。児童らは、甘酸っぱいイチゴを次々にほお張り、「甘くておいしい」「おなかか破裂しそう」と大喜びで、30個以上食べた児童もいました。篠田さんは平成16年の開園以来、児童を招待し続けています。

まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで(市役所内線207)。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中!